
**千葉県銚子市沖洋上風力発電事業に係る
事業性再評価概要、及び今後の地域での取組説明**

2025年9月8日

撤退理由

2025年8月27日（水）撤退を経済産業省・国土交通省に申し入れました。

- 事業性再評価にあたっては、事業会社を構成する各社と共に、取り得る様々な手を尽くして検討してまいりましたが、足元の事業環境においては、開発は継続できないとの判断に至ったものです。
- コスト面については、新型コロナウイルスの蔓延やウクライナ危機に端を発し、とりわけサプライチェーンの逼迫、インフレ、為替、金利上昇など、洋上風力業界を取り巻く事業環境が世界的に大きく変化し続けた結果、想定を遥かに超えてコストが膨らみました。
- 再評価の過程では、コントラクターの皆様から新しくご提案を頂きながら、最適化の検討を進めました。それでも、入札時当初見込んでいた金額と比較して、建設費用は2倍以上に膨らんでおります。これに加え、将来、コストが更に変動するリスクも存在すると考えております。
- 一方、収入面については、事業期間の延長や、FIPへの移行等が審議会で議論されていることから、これらの施策も含めて、コスト増に対応する方策も検討しましたが、仮にこれらが実現した場合においても、事業継続は困難との結論に至りました。
- その他にも、工程の見直しや、風車等の変更といった可能性も含め、当社として取り得るあらゆる手段を精査いたしましたが、足元の事業環境においては、開発の継続は難しいと判断いたしました。

応札時(2021年5月)からの事業環境の変化

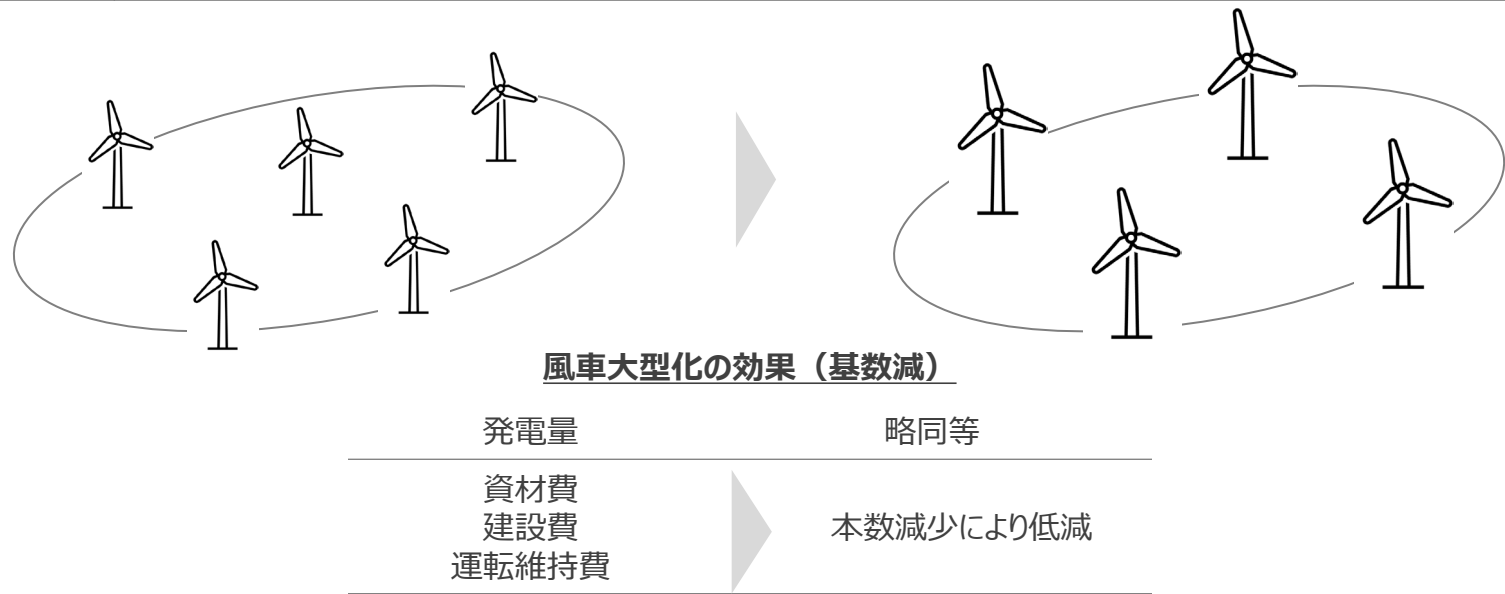
- 21年5月の応札では、その段階で見通せる事業環境・資材価格及びインフレ・金利を含め一定の採算を確保した上で公募に参加。政府／第三者委員会から事業計画の実現性や財務計画の適切性の評価を頂いて21年12月に事業者を選定されました。
- その後、開発を継続して参りましたが、大幅な事業環境の変化に直面し、事業性の再評価を実施。コスト面においては、風車や工事会社の切り替えなど抜本的な再構築を進めました。
- 収入面においては、コーポレートPPA（個別需要家向けのグリーン電力売買契約）採用による収益性改善の可能性を検討しました。これはFIT価格に頼らずに電力需要家へ直接グリーン電力を販売する方法で、政府審議会で議論されているFIPへの移行が成立する前提下で検討を進めたものです。
- しかしながら、サプライチェーンのひっ迫や、以下指標にも表れる大幅な世界経済情勢の変化によって、最適化を図っても建設コストは応札段階と比較して2倍以上の増加となり、現段階で獲得可能なコーポレートPPA水準を前提として再評価を行ったものの、事業期間30年の総支出が総売電収入よりも大きくなると評価しました。
- 巨額投資の回収が出来ないという再評価の下、開発困難という判断になったものです。

	応札時(21年5月)	再評価(25年8月)
為替	110円/米ドル 134円/ユーロ	147円/米ドル 171円/ユーロ
人件費(国内公共常時労務単価)	-	+ 20%
金利(20年国債)	0.5%	2.6%

事業性再評価概要①：コスト最適化検討

- 再評価の過程では、コントラクターの皆さまからも、新しく様々なご提案を頂き、最適化の検討を進めました。
- また、風車大型最新機種への変更、工法の見直し、工程の見直しといった可能性も含め、当社として取り得るあらゆる手段を精査。それでも、入札時に見込んでいた金額と比較して、建設費用は2倍以上の水準まで膨らみました。
- これに加え、将来、更にコストが変動するリスクも存在すると評価しました。

	内容
風車	大型最新機種により、本数を減少させて建設コストを抑制することも検討
洋上工事	外国船籍から日系保有の日本船籍(最新建造船)に変更、外貨割合を減少させ価格変動を抑制することも検討
陸上工事	コスト大幅見直し



事業性再評価概要②：収入改善の検討（FIP／コーポレートPPAなど）

- FITからFIPへの移行について、洋上WGなど政府主催の審議会では1R洋上風力への適用・明確化について審議が進められています。
- 従い、これに並行してFIP制度におけるコーポレートPPAの交渉を再エネ需要家と実施、収益性改善の可能性を検討しました。
- 加えて、政府審議会で検討が進む価格調整スキーム、占有期間延長による事業期間延長などの施策に基づく改善効果、既存の固定資産税減免制度の延長効果も検討しました。
- 需要家各社とコーポレートPPAの協議を重ねたものの、「運転(売電)開始が未だ先の中、最新コストを前提とした高額なグリーン電力を購入する事の確約は困難」とされ、収入の見通しが立たない結果となりました。
- 仮に、コーポレートPPAが確約されて上記改善策が実現した場合でも、2倍強の事業コストを勘案すると、事業期間における総売電収入を、保守・運転費用を含めた総支出が上回り、事業継続は困難であり、尚且つ、コスト上昇と不確実な収入によって更なる大幅な変動リスクを抱える、と評価しました。

	内容
FIPへの移行 (需要家との交渉)	市場価格よりも高値となる洋上風力からグリーン電気を調達する意向を持つ大口需要家が少ない中、運転開始時期が未だ先である為、長期間のグリーン電力購入の確約ができる需要家はいないと評価
価格調整スキーム	将来の新規案件に有用だが、21年5月に応札した1R3案件の場合、効果は限定的と認識（起点が応札時ではなく占用計画変更申請時であり、過去のコスト増は調整対象外）
海域占用期間延長	収入増に加えて、メーカー保証期間、長期運転をするための保守・運転技術、将来のコスト変動リスクの観点も含め評価

今後の地域での取り組み

- 洋上風力撤退後も、現在取り組み中の施策は着実に完遂

- ✓ 漁業との共生に資する取り組み : 藻場造成 / ブルーカーボン創出実証 等
 - ✓ 地域産業・雇用の振興に関する取り組み : 地域産品の拡販/PR、活用レシピ開発 等
 - ✓ 住民生活・教育支援に関する取り組み : ローソン出店支援、STEAM教育推進・自走支援 等
- ☞ 将来施策についても、個別にステークホルダー（漁協・自治体等）とご相談しながら対応方針を決定

- 三菱商事 銚子支店は継続。洋上風力以外の事業や地域の課題解決に引き続き取り組む

- ✓ 上記施策との連携も含む、三菱商事グループ内外の企業ノウハウ・知見を活かした取り組みの継続・検討等

- 早期の再公募実施に向け、政府・県と連携し、データ提供を含めて協力を行う

漁業共生/地域共生

取り組みの概要

漁業との共生に資する取り組み

漁場実態調査の結果に基づき、関係漁業者や協力企業の皆様と連携しながら、新たな漁場のデザイン・創造に資する取り組みを行っています。

主な取組事例

● 漁場実態調査の支援

- ✓ 2025年4月、銚子市漁業協同組合様が3年間の漁場実態調査の結果を地元漁業者や地域関係者へ報告されました。
- ✓ 当社は、実証用漁礁の設置、海藻育成の実証試験等への協力を実施しています。

● ブルーカーボンの創出に向けた藻場造成実証事業

- ✓ 本実証試験は、銚子市漁業協同組合様・渋谷潜水グループ様らと共同で実施しています。
- ✓ 銚子市名洗港へ藻場増殖マットを設置し、海藻の付着・成長を確認する実証試験を開始しました。
- ✓ 海藻の育成状況を1年間のモニタリング調査にて確認しています。



漁場実態調査報告会



海藻育成実証試験



ブルーカーボン実証事業

地域産業・雇用の振興に関する取り組み

三菱商事のグループ企業を含む協力企業と連携し、水産品に限らず、地域産品のPR・販路拡大に積極的に取り組んでいます。

主な取組事例

- 魚食の普及活動
 - ✓ 魚食文化継承、地元水産物の消費拡大・価値向上を目指し、銚子市漁業協同組合様はじめ関係者と活動を開始しました。
 - ✓ 現在、地魚であるいわしを活用した開発（いわしコロッケ）に取り組んでいます。
- 地元産品の認知度向上および販路拡大施策
 - ✓ 三菱食品（株）主催の食品業界関係者が集うイベントにて銚子ブースを設け、PRを実施しました。
 - ✓ (株)ABC Cooking Studioと連携し、市内水産加工事業者のふるさと納税返礼品を活用したメニューを開発しています。



三菱食品ダイヤモンドフェア



いわしコロッケ（なめころさん）開発



ABC Cooking Studioのメニュー開発

住民生活・教育支援に関する取り組み

地域住民の皆さまの生活問題軽減や地域活性化に貢献する取り組みとして、買い物困難問題の解決や教育支援、人材育成に向けた取り組みを実施しています。

主な取組事例

● 銚子市立病院内へ(株)ローソンによる省人化店舗の出店

- ✓ 既存テナントの撤退による、病院利用者／関係者、周辺住民も含めた買い物困難問題の解決を目的に開店しました。
- ✓ 当社は、店舗オーナーである銚子市医療公社様と、三菱商事が出資するグループ会社である(株)ローソンとの間をつなぐ役割を担い、開店に向けた調整・支援を行いました。

● STEAM教育/環境教育の推進・支援

- ✓ Amazon Web Services, Inc.との協業により銚子市へSTEAM教育の学習キットを寄贈しました。寄贈先の市内小中学校ではSTEAM教育の出前授業を開催する等、STEAM教育推進・自走支援を行いました。
- ✓ 銚子ジオパーク推進協議会主催の自由研究教室にて、銚子地方気象台様と連携し講座を実施しました。
- ✓ 博物館開館に向けて準備が進められている銚子ジオパークミュージアムの展示品製作に連携しています。



ローソン銚子市立病院店舗

※出典：(株)ローソンホームページより

https://www.lawson.co.jp/company/news/detail/1477937_2504.html



STEAM教育プログラムの作品



銚子ジオパーク主催「親子で夏の自由研究ツアー」

主な地域共生策の実績



漁場実態調査の実施



銚子ローカルリーダースクールの開催



銚子市へSTEAM学習キット寄贈



銚子商業高等学校での講演会の実施



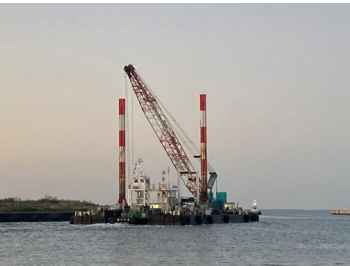
海藻育成試験の実施



第13回日本ジオパーク全国大会協賛・ブース出展



地場産品をローソン一部店舗にて販売



実証用漁礁の設置



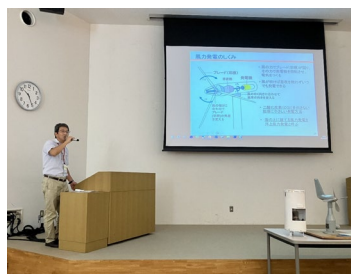
ABCシンガポールスタジオでの銚子市の“食文化”の魅力発信イベント支援



ハマグリ漁場実態調査



屏風ヶ浦ビーチクリーン参加



千葉科学大学主催の市民公開講座にて講義



銚子港水産まつりへの出展・協力



銚子電力やC-COWSと連携し、銚子市立第一中学校での電力授業の実施



三菱商事の社員食堂にて銚子フェアの開催